株式会社マルマエ
www.marumae.com

東証マザーズ(TSE Mothers):6264

株式会社マルマエ
平成23年8月期 第3四半期決算説明会

平成23年7月22日
東京国際フォーラム G410



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

P/L分析

P/L

	平成22年8月期 第3四半期累計期間		平成23年8月期 第3四半期累計期間		
	金額（百万円）	割合（%）	金額（百万円）	割合（%）	対前年同期増減率（%）
受注高	765	—	841	—	10.0
受注残高	279	—	181	—	▲35.2
売上高	661	100.0	946	100.0	43.1
売上原価	724	109.6	831	87.8	14.7
売上総利益又は売上総損失（▲）	▲63	▲9.6	115	12.1	—
販売管理費	165	25.0	134	14.2	▲18.6
営業損失（▲）	▲228	▲34.6	▲19	▲2.1	—
経常損失（▲）	▲276	▲41.8	▲51	▲5.5	—
特別利益又は特別損失（▲）	23	3.6	▲153	▲16.2	—
純損失（▲）	▲255	▲38.7	▲205	▲21.7	—
EPS（円）	▲13,804.17	—	▲11,254.41	—	—

Point

①受注状況

- 切削加工事業：978百万円
  （対前年同期：42.7%増）
- 装置組立事業：▲137百万円
  （前年同四半期：79百万円）

※液晶及び太陽電池製造装置の受注キャンセル処理

②販売実績

- 切削加工事業：941百万円
  （対前年同期：46.5%増）
- 装置組立事業：4百万円
  （対前年同期：73.7%減）

③セグメント損益

- 切削加工事業：13百万円
- 装置組立事業：▲33百万円

④営業外費用

- 支払利息：27百万円

⑤特別損益

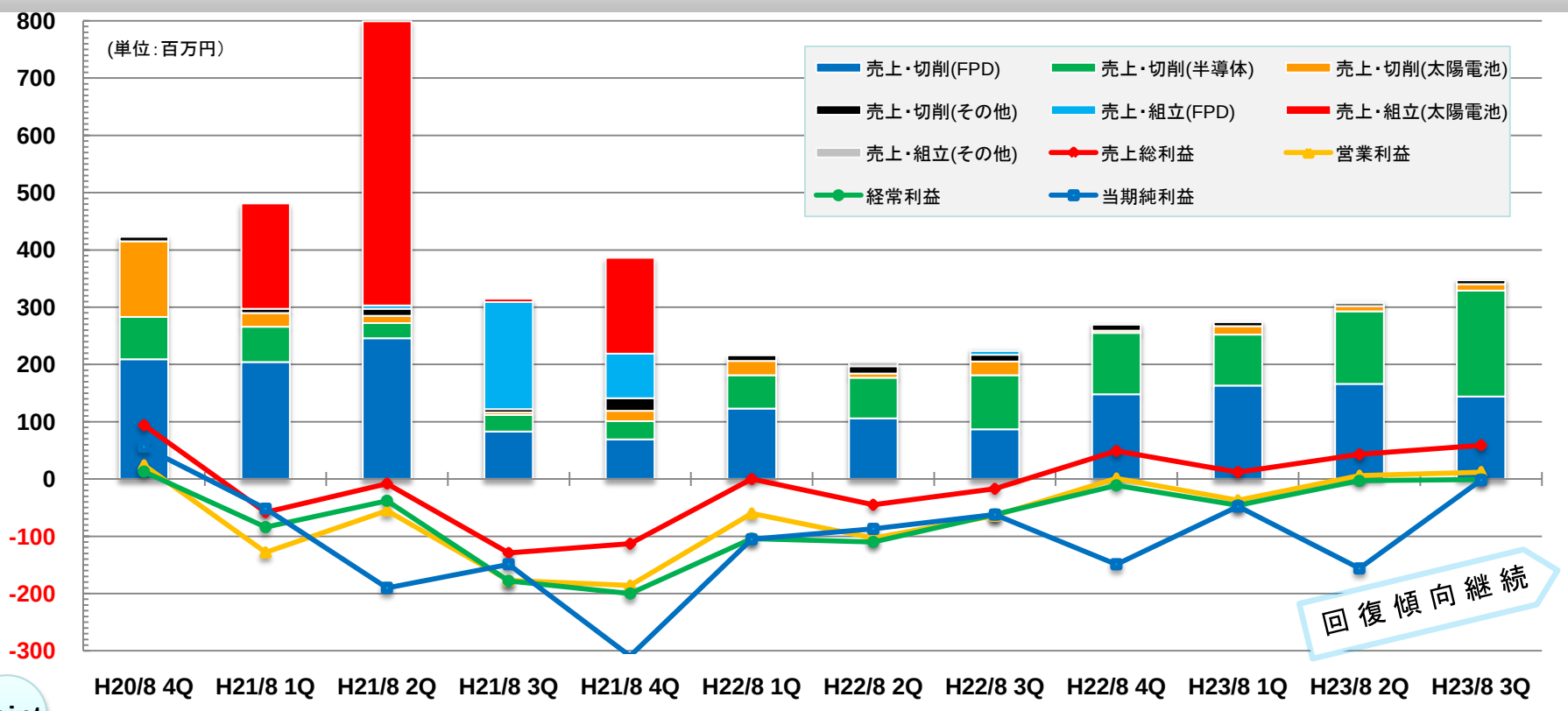
- 固定資産売却益：70百万円
- 減損損失：141百万円
- 事業構造改善費用：80百万円

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

四半期業績の推移



Point

①精密切削加工事業の売上高は改善傾向

- FPD分野:474百万円(対前年同期:49.2%増)
  - 中小型装置部品の需要が好調
- 半導体分野:402百万円(対前年同期:78.8%増)
  - タブレット型PC・スマートフォン向け需要拡大
- 太陽電池分野:36百万円(対前年同期:35.2%減)
- その他分野:27百万円(対前年同期:35.8%減)

②利益面も総体的に改善傾向が継続

- 営業利益、経常利益共に改善
- 減損損失及び事業構造改善費用の特殊要因

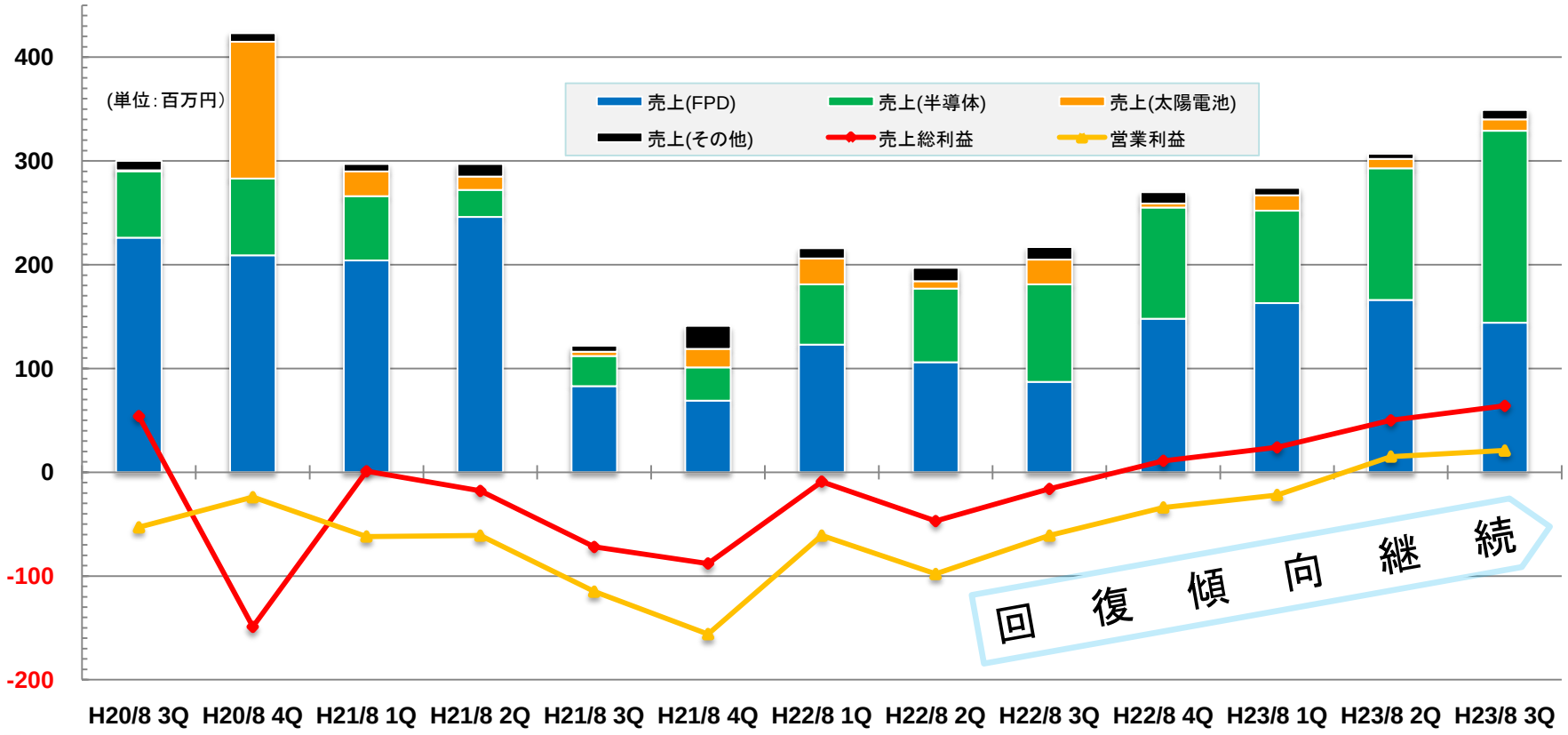
Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

精密切削加工セグメント四半期業績の推移



Point

- 精密切削加工事業への集中方針(本業回帰方針)
- リーマンショック後の落ち込みから、半導体分野拡大方針に伴って着実な売上改善
- 第4四半期以降はリストラ効果も出始め、営業黒字定着見込

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

B/S分析

B/S

（単位：百万円）	平成22年8月期 期末	平成23年8月期 第3四半期末
流動資産	793	655
現金及び預金	270	160
受取手形・売掛金	333	415
たな卸資産	142	57
固定資産	2,255	1,832
建物・土地	1,181	1,060
機械及び装置	743	466
流動負債	836	693
有利子負債（短期）※	724	540
固定負債	1,995	1,785
長期借入金	1,980	1,774
負債合計	2,831	2,479
純資産合計	217	9
総資産	3,049	2,488

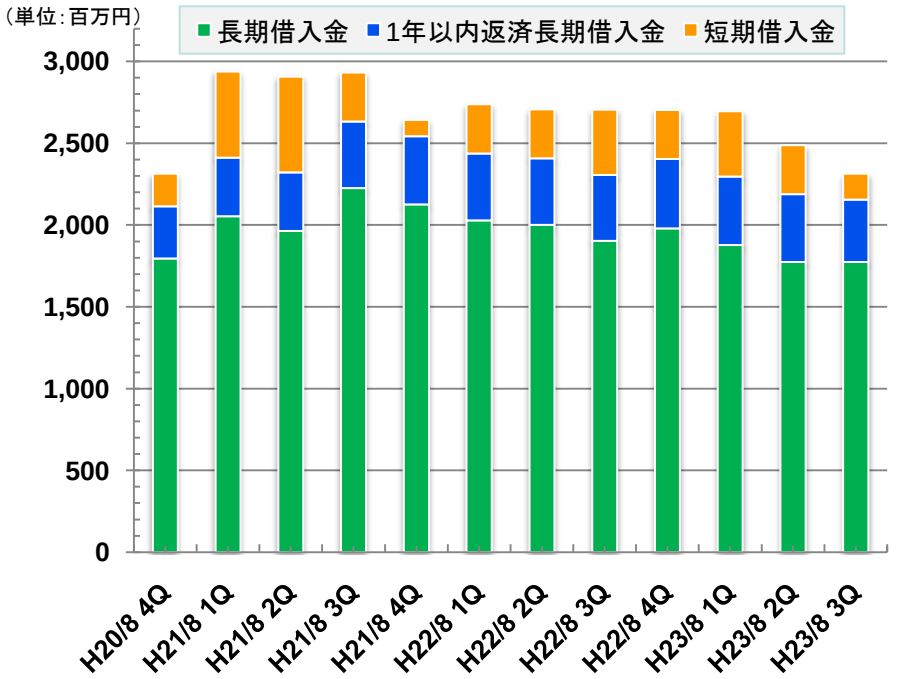
※　有利子負債（短期）：短期借入金＋1年以内返済長期借入金

Point

① **資産：2,488百万円(前期末比：561百万円減少)**
- 有形固定資産　441百万減少

② **負債：2,479百万円(前期末比：352百万円減少)**
- 短期借入金　140百万円減少
- 長期借入金　249百万円減少

③ **純資産：9百万円(前期末比：208百万円減少)**
- 自己資本比率　0.4%



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

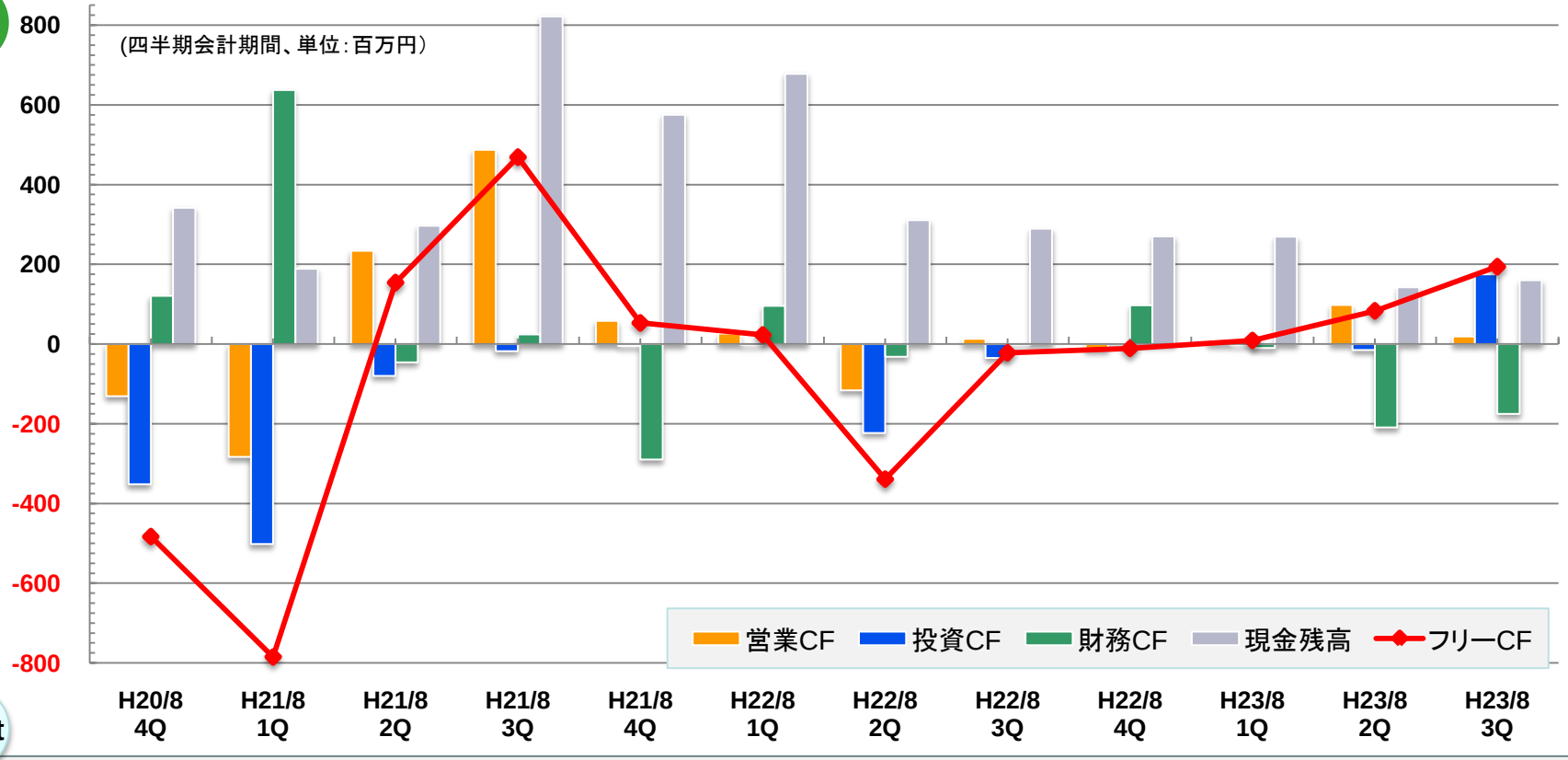
進化する技術で未来を拓く

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

CF分析

CF



Point

①営業活動によるキャッシュ・フロー:128百万円

- 税引前四半期純損失:205百万円
- 減価償却費:191百万円
- 減損損失141百万円　・棚卸資産の減少額:84百万円
- 売上債権の増加額:81百万円

② 投資活動によるキャッシュ・フロー:158百万円

- 有形固定資産の売却による収入:190百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー:▲394百万円

- 短期借入金の返済による支出:140百万円
- 長期借入金の返済による支出:249百万円

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

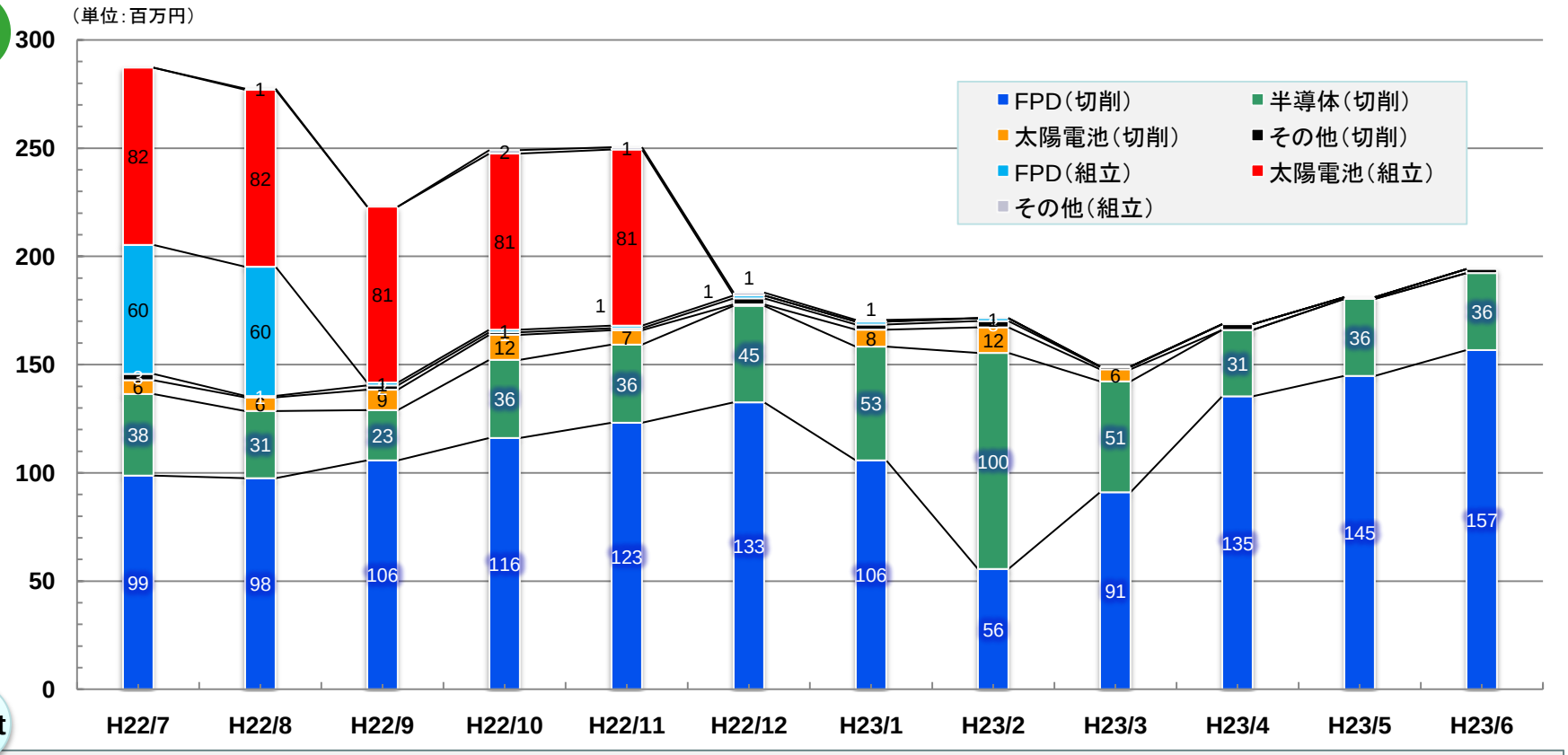
進化する技術で未来を拓く

2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

月次受注残高の推移（精密切削加工事業・装置組立事業）

受注残



Point

① FPD分野

・タブレット型PCやスマートフォンに向けたタッチパネルや有機ELディスプレイ関連の製造装置部品の活況

② 半導体分野

・受注及び生産・検収ともに堅調に推移

③太陽電池分野

・受注においては、動きなし

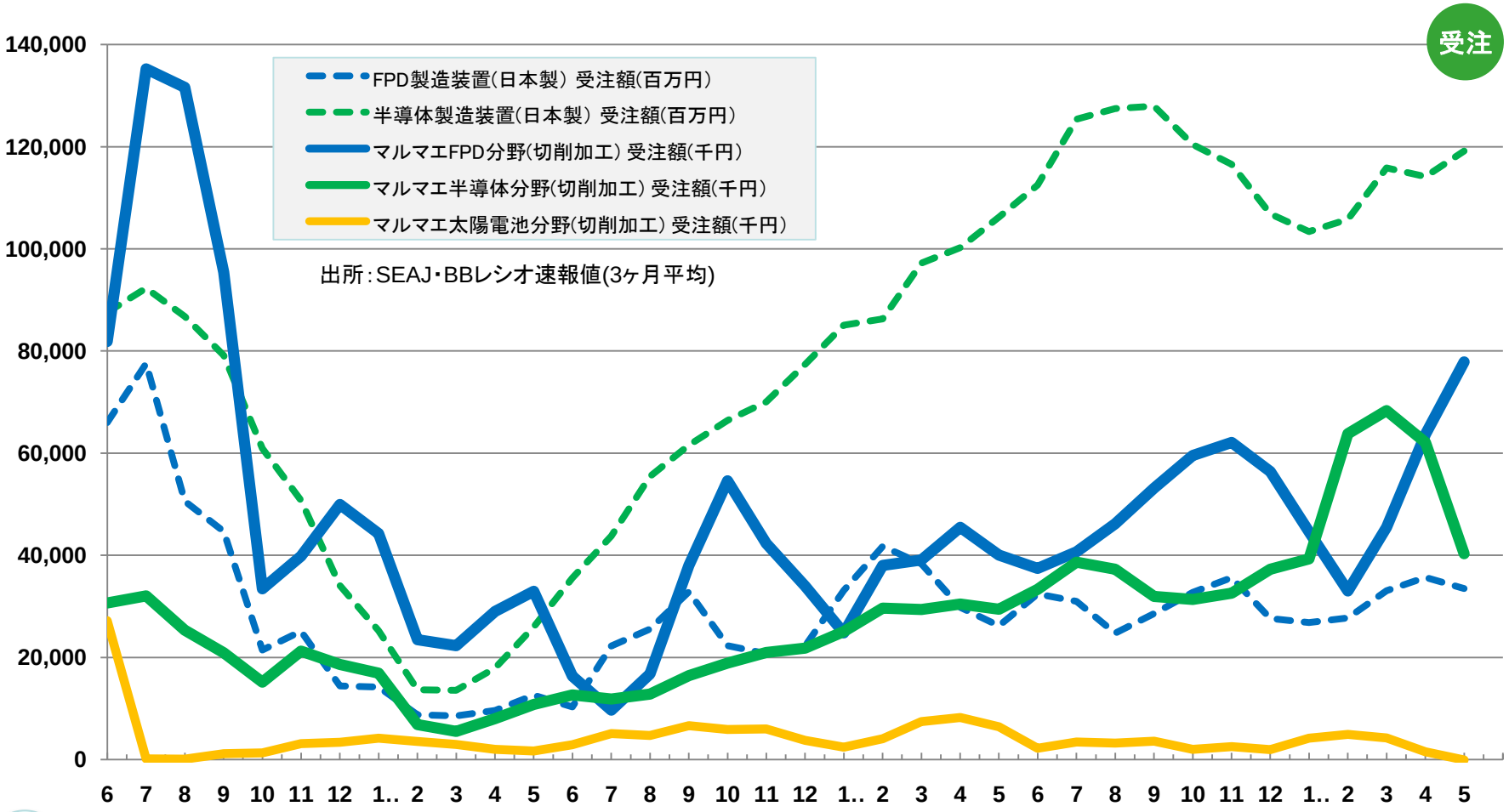
※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム（LT）があり、LTの長い案件が多いと売上高にくらべ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高にくらべ受注残は低めに表れます。（主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです）

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

市場とマルマエの受注動向比較（3ヶ月移動平均数値）



Point

- FPD分野はスマートフォン好調維持
- 半導体分野は、市場には一時停滞感がありながらも新規顧客の増加により好調維持
- 太陽電池分野は、市場環境は好転しながらも実需拡大には時間を要す見込

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

販売分野別の環境と営業方針

FPD分野

- ◆ スマートフォン・タブレットPC向け中小型製造装置で活況続く
- ◆ 中小型装置部品は幅広い顧客（工程）からの受注を目指す

半導体分野

- ◆ 製造装置の一部は大震災の影響などで秋口まで停滞
- ◆ 消耗品の受注品種拡大と開発案件の拡大方針

太陽電池分野

- ◆ 市場環境は好調で顧客への引き合い増えるも明確な増加に至らず
- ◆ 電極など主要部品の受注開拓に注力

装置組立事業

- ◆ 自社生産は廃止し、完全外注化
- ◆ 重要度が下がりセグメント分廃止。協力企業との関係強化。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

3.平成23年8月期の業績予想

株式会社マルマエ
www.marumae.com

業績予想の修正に関するお知らせ（平成23年7月19日開示）

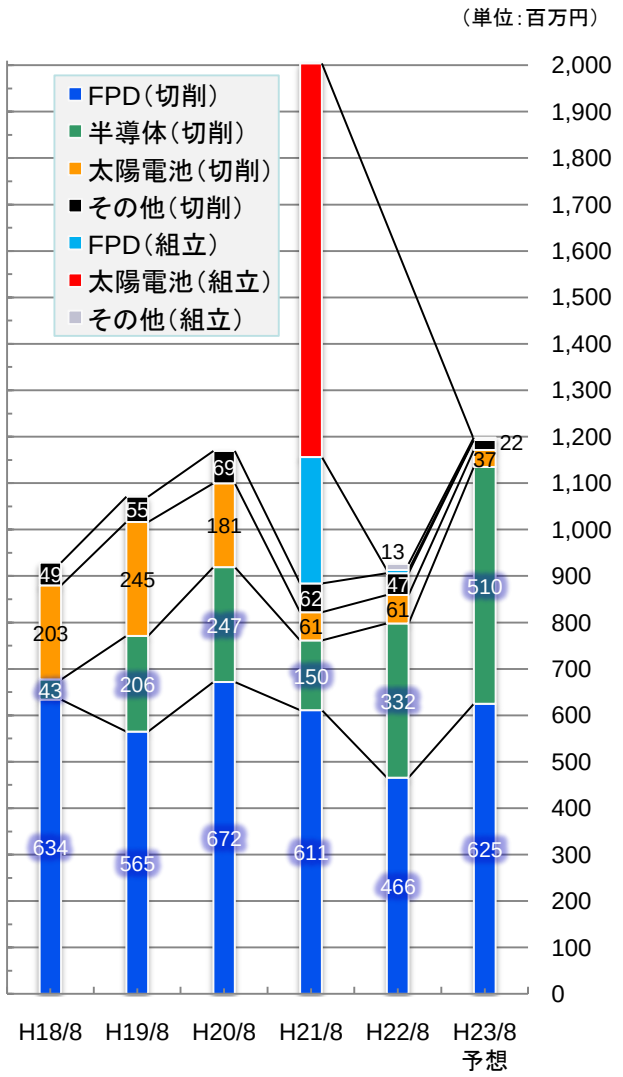
通期

(単位：百万円、1株当たり四半期純利益は円)

平成23年8月期 通期 業績予想の修正	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	1,100	△37	△134	△150	△8,090.61
今回修正予想(B)	1,210	△17	△64	△440	△23,732.47
増減額(B-A)	110	20	70	△290	—
増減率(%)	10	54.1	52.2	△193.3	—
(ご参考)前期通期実績 (平成22年8月期)	938	△227	△287	△405	△21,877.38

Point

- 売上高
  - ●装置組立事業の受注キャンセル：59百万円減額
  - ●スマートフォンやタブレットPC向け需要増加などで169百万円増加
- 営業損失・経常損失
  - ●装置組立受注キャンセルによる材料費の減少
  - ●工場稼働率低迷による遊休固定資産に関連する費用
- 当期純利益
  - ●固定資産売却益：70百万円
  - ●事業構造改費用：267百万円
  - ●固定資産の減損損失：227百万円

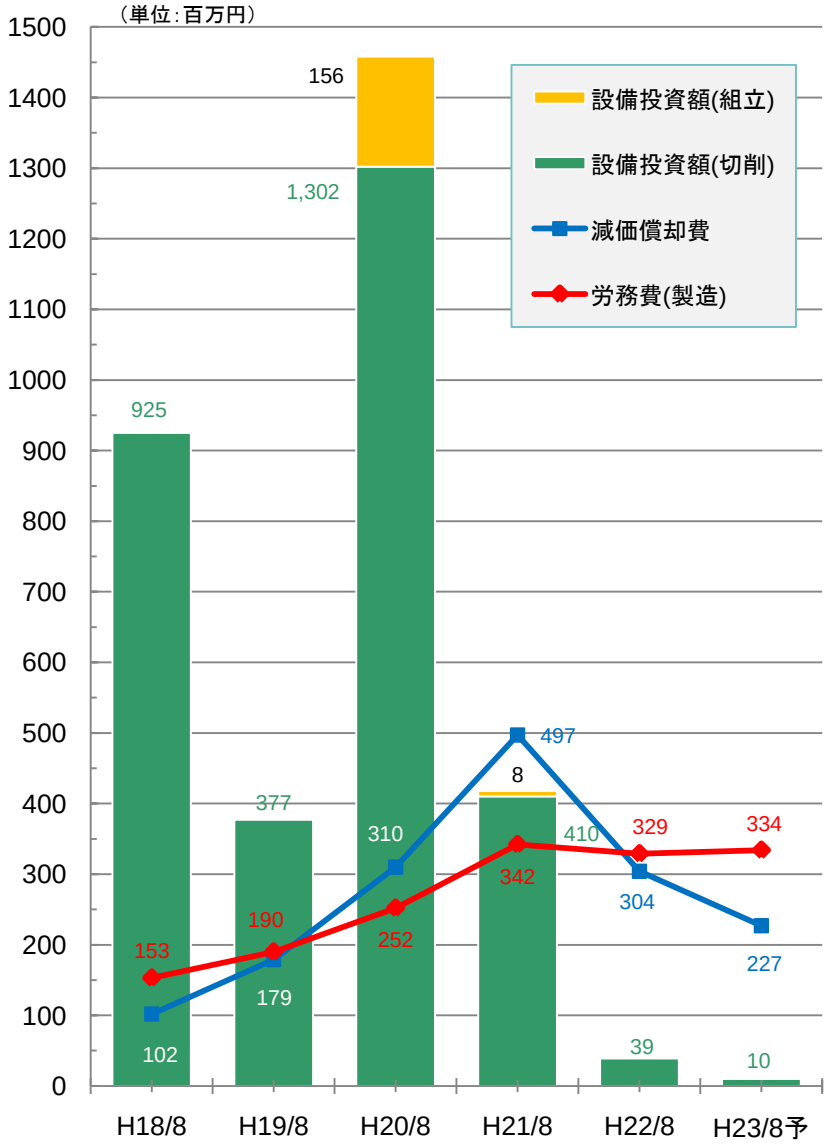


Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

3.平成23年8月期の業績予想

株式会社マルマエ
www.marumae.com

設備投資額の推移と費用構造



Point

①装置組立事業の廃止
- 経営改善施策―不採算事業の廃止
  ⇒土地、建物、一部設備については売却方針

②固定資産の売却
- 本社・大型溶接装置（EBW）導入計画は中止
  ⇒購入済一部設備については売却方針

③投資計画は一時停止
- 当期は設備投資を停止し投資分野の見極め

④労務費
- 希望退職者募集を行い固定費を削減

⑤減損
- 上記①・②に関連して減損損失を計上

※H22/8期の労務費（製造）
- 熊本事業所の一時停止に伴い停止期間中の製造労務費の一部が販売管理費に計上されています。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

4.事業再生ADRの成立

事業再生計画の概要

◆方針と計画内容

今後の景気低迷時にも大きな赤字が出にくい筋肉質な事業構造へ回帰

金融支援	事業構造改革 （自助努力）	各施策取組 （自助努力）
• DES • DDS • 債権放棄 • 条件緩和	• 熊本事業所閉鎖 • 人員削減 • 設備削減	• 半導体強化 • 営業力強化 • 生産性向上 • 外注強化

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

4.事業再生ADRの成立

金融支援の要請

◆金融支援の要請内容

抜本的な事業構造改革に伴う一時的な損失による債務超過を回避すると共に、償還可能額に応じた弁済方法への条件緩和で資金繰りの安定化を目指す。

債務の株式化 （デット・エクイティ・スワップ）	借入先	– 取引先2金融機関
	債務の内容及び金額	– 借入金246百万円
債務の劣後化（デット・デット・スワップ） 及び 債権放棄の組み合わせ	借入先	– 取引先1金融機関
	債務の内容及び金額	– 借入金143百万円 – DDS　借入金　113百万円 – 債権放棄　借入金　30百万円
債務の返済条件緩和 （返済方法及び返済期日の変更）	借入先	– 取引先6金融機関
	債務の内容及び金額	– 借入金2,090百万円（計画当初） – 現時点では、資産売却による弁済進捗で対象債務の額は減少

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

4.事業再生ADRの成立

金融支援の要請

◆債務の株式化（デット・エクイティ・スワップ）- 優先株式の募集事項及び内容 -

項目	内容
払込金額	・1株あたり金100万円
発行株式数	・払込金額総額を金100万円で除して得られる数
実行日	・平成23年8月31日を予定
増加する資本金及び資本準備金の額	・払込金額総額の2分の1を資本金、残額を資本準備金に組入れ
優先配当	・優先配当額は、払込金額×(日本円Tibor(6ヶ月)＋150bps)　・非累積　・非参加
残余財産分配	・1株あたり金100万円　・非参加
議決権	・議決権なし
取得請求権	・株主の請求により、優先株式の取得と引換えに、金銭又は当社の普通株式を交付 (金銭を交付する場合) ・交付価額は、優先株式の払込金額相当額 ・年間の交付価格は、各事業年度末の貸借対照表をもとに、配当可能利益並びに現金及び預金がそれぞれ一定額を超える部分に限定 ・行使期間は、平成28年11月1日からとし、行使可能日は毎年事業年度終了後3ヶ月を経過した日 (普通株式を交付する場合) ・交付される普通株式の数は、優先株式に係る払込金額総額を交付価額で除して算出される数 ・交付価額は、平成23年7月20日に始まる連続する30取引日の各取引日の株式会社東京証券取引所における終値の平均を基礎として決定 ・行使期間は、平成28年11月1日から平成32年11月1日まで
取得条項	・当社の決定により、優先株式の取得と引換えに、金銭又は当社の普通株式を交付 （金銭を交付する場合） ・交付価額は、優先株式の払込金額相当額 ・行使期間は、 平成23年9月1日以降随時行使可能 (普通株式を交付する場合) ・普通株式の数は、本件優先株式に係る払込金額総額を交付価額で除して算出される数 ・交付価額は、本件優先株式発行前の一定期間の当社普通株式の市場における終値の平均を基礎として決定 ・行使期間は、平成28年11月1日から

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

4.事業再生ADRの成立

事業再生計画の内容－自助努力－

◆経営改善施策　–施策による損益効果の見込-

単位:百万円

施策		施策内容	損益への影響見込額			
			23/8期		24/8期	
			営業利益	特別損益	営業利益	特別損益
1	人員削減	本社人員削減（自然減含）	+9	▲7	+36	―
2	本社余剰資産削減	本社機械設備一部削減	+2	▲115	+10	―
3	熊本事業所閉鎖・売却	組立・加工工場ともに閉鎖 23/8期に機械設備を売却済み 24/8期に土地・建物売却見込 従業員削減（自然減含）	+20	▲146	+55	―
合計			+30	▲268	+101	―

※H24/8月期の費用削減は、本施策による101百万円の他に製造減価償却の進展分約37百万円等も見込まれます。

※表内の数値は事業再生計画時の見込み数値であり、実際の業績数値とは異なります。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

4.事業再生ADRの成立

事業再生計画の内容－経営者責任･株主責任－

◆経営者責任

①代表取締役による債務の連帯保証
DES等実行後の対象債権について、代表取締役前田俊一（以下、前田社長）が連帯保証

②代表取締役による私財提供
前田社長の所有資産を売却し会社債務の一部を第三者弁済した上で求償権を全額放棄
前田社長所有の当社株式の一部を当社に対して無償譲渡

③役員報酬の減額
平成21年2月以降行っている役員報酬削減（現在３～５割）を通期の営業利益計上時まで継続

④役員ストックオプションの放棄等
当社役員に対しストックオプションとして付与している新株予約権は自主的に放棄し消滅

⑤役員数の削減
取締役を現在の5名から3名に削減した上で、外部から新役員を招聘見込

◆株主責任

①主要株主の持株を会社に一部無償譲渡および譲渡制限を確約
筆頭株主の前田社長は、所有する当社株式10,364株のうち1,094株を当社に対して無償譲渡
残る前田社長保有株式についても、計画完了までは譲渡に債権者同意が必要などの制限設定

②DES優先株式の発行による潜在的希釈化
普通株に転換可能な優先株式の発行により、潜在的な議決権及び株式価値の希釈化が発生

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関しての責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マルマエ　管理部総務課　IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900　FAX 0996-64-2863

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

Company Profile

企業情報

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

●会社概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ （Marumae Co., Ltd）
設立	昭和63年10月
資本金	5億825万円 （平成23年5月31日現在）
役員	代表取締役社長 前田俊一 取締役 海崎功太 取締役 藤山敏久 ※田畑氏と五十嵐氏は6/30付で取締役を退任いたしました。 監査役 紫尾俊一 監査役 寺畑幸雄 監査役 森毅憲
従業員数	90名 他 臨時雇用者等14名 (平成23年5月31日現在）
所在地	本社 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 熊本事業所 〒869-1222 熊本県菊池郡大津町大字岩坂字笹野3258番5 大津南部工業団地内 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立 ・精密機械部品の設計および製作 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務

大株主		
	前田　俊一	10,364株
	前田　美佐子	840株
	前田　良子	300株
	五十嵐　光栄	260株
	マルマエ共栄会	190株
	小出　卓	175株
	平岩　靖	128株
	出口　勝志	115株
	マルマエ従業員持株会	106株
	齊脇　和紀	104株

敬称略　平成23年6月15日現在

※当社は、平成23年6月16日付「自己株式の無償取得に関するお知らせ」で公表しましたとおり、同日付で筆頭株主である当社代表取締役社長前田俊一より1,094株を無償で取得し、本日現在自己株式として保有しております。

経営理念

1.技術は究極を目指し
2.競争と協調を尊び
3.技術注力企業として社会に貢献する

経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。

そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

●会社沿革

株式会社マルマエ
www.marumae.com

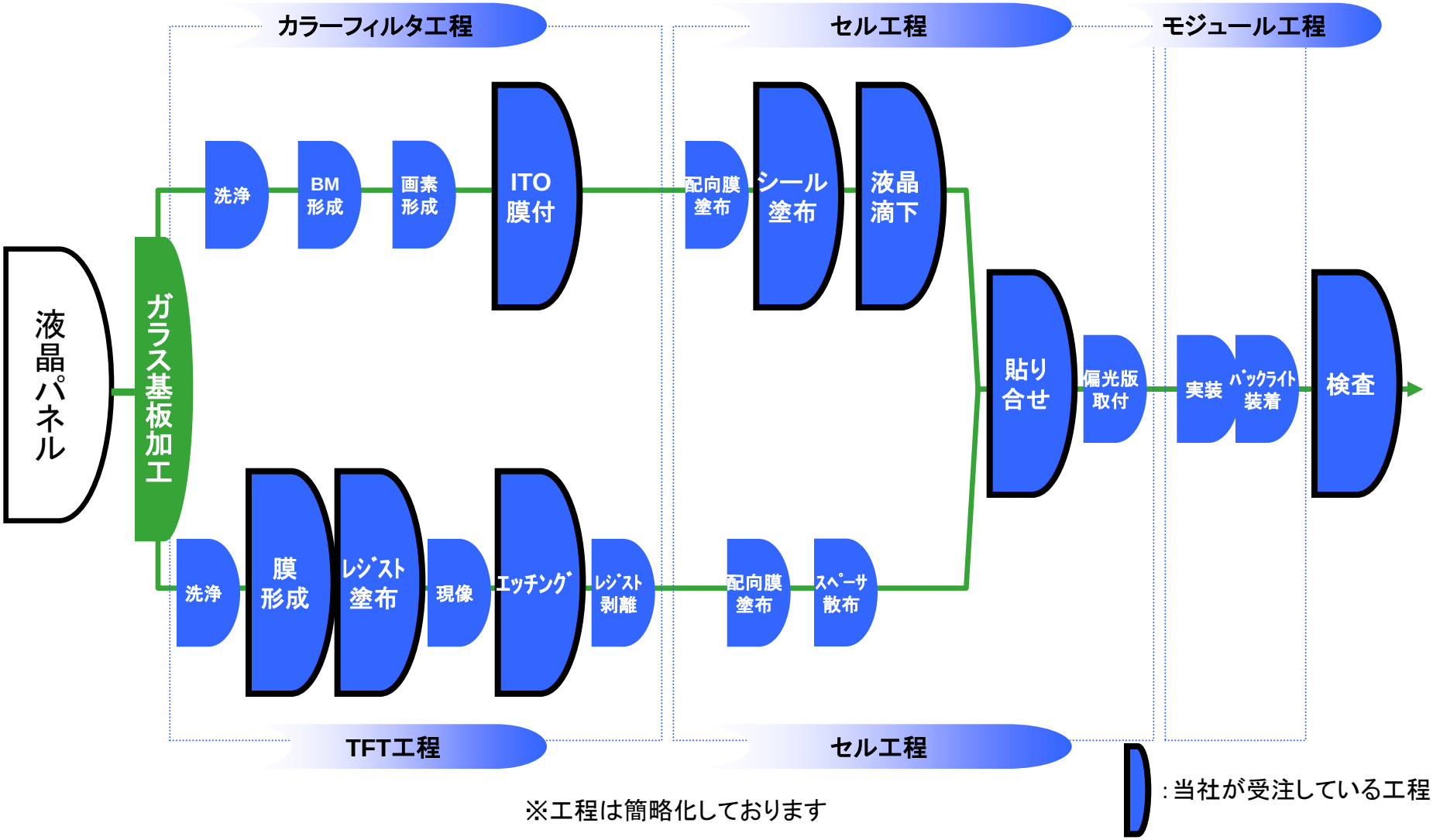
進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務（元社長、元相談役）が個人で創業
昭和63年10月	個人経営の鉄工所をマルマエ工業有限会社（現当社）に改組（出資金2,000千円）
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D（現当社事業）を前田俊一（現代表取締役社長）が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社が引継いでR&D事業部を設置
平成9年10月	R&D事業部にて発電所用タービンブレード受注開始、3次元CAD/CAMの導入
平成12年3月	同時5軸加工機導入
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更（資本金10,000千円）
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町（現出水市）に本店移転、新本社工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年4月	工場増床、高回転型門型加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定（証券コード6264）
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町に新工場（知識工場）取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年5月	本社第4工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年5月	熊本事業所の事業再編

※注　個人事業部分については、月次の確定が困難なため導入月の記載を省略しております。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

FPD分野～液晶パネル製造工程と当社関連工程

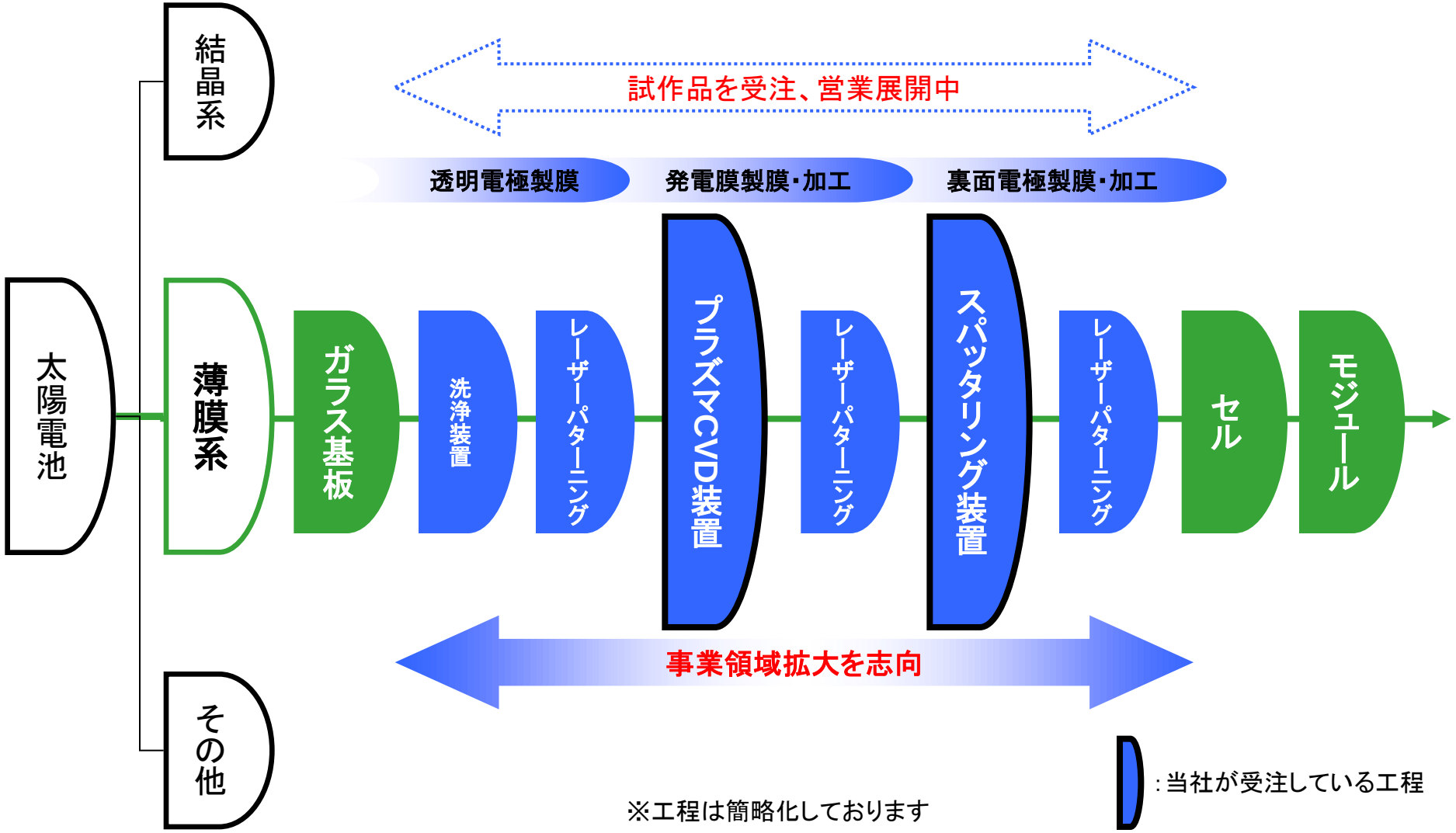


※工程は簡略化しております

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

●販売分野

太陽電池分野～太陽電池製造工程と当社関連工程



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved